

## 2022 年度の熊本県経済 (2022 年 8 月見直し)

2022 年度の熊本県経済は、TSMC 進出を機に、産業集積が進むと見込まれ設備投資が活発化。関連してインフラの整備や、雇用の創出等、好影響は多方面に渡る。一方で、原材料費等の高騰による値上がり広がっており個人消費回復の重しとなりそうだ。

上記のような状況を勘案し、2022 年度の県内 GDP はコロナ禍の落込みから回復した前年度からさらに増加し、+2.6%と 2 年連続の増加を予測した。なお、ウクライナ情勢の緊迫した状況が長期化し、世界的に影響を及ぼしているが、先行きは非常に不透明である。本見通しは現時点の予想であり、今後の経済情勢の変化によっては変動する可能性がある。

### 【個人消費 (民間最終消費支出)】 2022 年度 +1.0%

2022 年 4 月予測で未考慮であった物価高が商品全般に広がり、消費の重しとなる。一方で感染症対策の進展等もあることから、前年比で微増を見込む。

### 【設備投資 (民間企業設備投資)】 2022 年度 +12.4%

半導体関連企業を中心に進出や設備投資が本格化。大幅増加を見込む。

### 【住宅投資 (民間住宅投資)】 2022 年度 +8.6%

被災住宅の建て替え、企業集積による移入労働者の受け入れ先の住宅整備を鑑み、増加を見込む。

### 【政府支出 (政府最終消費支出)】 2022 年度 +3.1%

引き続きコロナ関連対応として、医療福祉サービス提供に向けた体制強化を見込み、増加。

### 【公共投資 (公的資本形成)】 2022 年度 ▲0.7%

流域治水の推進、引き続き国土強靱化計画への対応等があるため、前年同様の高い水準を見込む。

図表 1 熊本県の名目 GDP 及び構成項目

単位: 億円、前年比 (%)

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率	実額	成長率
名目GDP	63,162	3.7	62,998	▲0.3	63,634	1.0	61,343	▲3.6	63,334	3.2	64,949	2.6
民間最終消費支出	34,409	2.4	35,155	2.2	34,813	▲1.0	33,832	▲2.8	34,965	3.3	35,298	1.0
民間企業設備投資	8,424	8.2	8,650	2.7	8,806	1.8	7,453	▲15.4	8,262	10.9	9,283	12.4
民間住宅投資	3,649	37.9	3,396	▲6.9	2,787	▲17.9	2,529	▲9.3	2,724	7.7	2,959	8.6
政府最終消費支出	14,164	▲1.2	13,215	▲6.7	13,413	1.5	14,995	11.8	15,707	4.7	16,188	3.1
公的固定資本形成	5,453	16.1	6,328	16.0	6,500	2.7	5,462	▲16.0	6,982	27.8	6,936	▲0.7
移出入(純)	▲6,701	-	▲6,895	-	▲7,251	-	▲6,928	-	▲7,606	-	▲9,115	-

資料：県民経済計算（熊本県） ※2020～2022 年度は当研究所予測、2018 年度以前は 2022 年 3 月の遡及改定後の値。